

NPO 法人 北海道勤労者安全衛生センター HP: <http://www.hokkaido-osh.org/index.html>**再掲載 「全国産業安全衛生大会・札幌」 9 月 16 日(水)～18 日(金)**

札幌での開催についてお伝えしてきました。当センターとしては、札幌開催ということもあり、積極的に参加していただけるよう検討をお願いします。参加に関わる文書は会員組織に個々に送付しています。

今年度は、昨年度の会費を納入いただいている産別・地協に参加費の一部を補助(全体で 20 人)することとしました。大会の概要は以下ようになります。当センターへの参加希望会員は 8 月 17 日(月)までに申込みをお願いいたします。

■主催 中央労働災害防止協会

■後援 連合、連合北海道ほか北海道、札幌市など

■概要 9 月 16 日(水) 13 時 15 分～17 時

総合集会【開会式・講演会】北海きたえーる

※特別講演 (株)セコマ取締役会長 丸谷智保さん

「人口減少、高齢化と向き合う経営」

9 月 17 日(木) 9 時 30 分～17 時 分科会

【8 分科会】札幌コンベンションセンターなど

9 月 18 日(金) 9 時 30 分～16 時 分科会

【8 分科会】上記ほか「つどーむ」「カナモトホール」

開催詳細は、URLまたはQRコードからご覧ください。

札幌大会URL→ <https://jisha-taikai2026.com/> QRコード→

齊藤勉さん自作のセミナー広告

■同時開催 **9/16～18 緑十字展** 【安全・健康にかかわる器具・情報等の展示会】

会場 つどーむ 【参加無料 申し込み不要です】

「新しい安全保護具を導入したい」「熱中症対策や DX 機器の最新情報を知りたい」

そんなとき、カタログやインターネットだけでは分からないことも多いのではないのでしょうか。

安全衛生に関する最新の製品・技術・サービスを一度に見ることができる貴重な機会です。

緑十字展の特設サイトは URL から! <https://a16.hm-f.jp/cc.php?t=M1122265&c=7318&d=e0ac>**NEW「全道セイフティネットワーク集会」で「うつ病・うつ状態」の人への対応を学習 ⑥**

第 29 回全道セイフティネットワーク集会での北海道家庭生活総合カウンセリングセンターの吉野先生からの講演を連続してお伝えしています。先週は産後 10%近く

自殺の直前のサイン

- ・ それまで迷っていた人、落ち込んでいた人が妙にすっきりサバサバとしている
- ・ 大切にしていたものを誰かにあげる
- ・ いつもはしないような行動をとる
- ・ 怒りや焦りがピークに達している
- ・ さよならを言う
- ・ 遺書を書いたり具体的な準備をしている
- ・ 帰宅しないなど行方がわからなくなる

高橋祥友、医療者が知っておきたい自殺のリスクマネジメント第2版、医学書院、2006、pp40～41 を参考に作成

で「うつ病」を生じる可能性があり、周囲の協力が精神状態に大きく影響すること、うつ病の人との接し方は「答えより理解と共感」「よくなるという希望と回復を焦らない気持ち」が必須であることをお伝えしました。

今回は、「死にたいと打ち明けられたら」どうしたらよいかについてです。吉野先生は自死者の家族支援に長く携わっており、まずは時間をかけて訴えに耳を傾けることが必要で、安易な励ましや批判や一般論の押し付けはしてはいけないこと、理解しようとする態度を示して専

門家への治療をすすめるようにしているとしました。また、うつとわかっていても死にたい気持ちは止めめられるものではないことを覚えておくべきとしました。うつは気持ちの持ちようではなく、身体レベルの病気だからということでした。そして、うつの人への死にたい願望の強さを理解することの重要性を強調していました。さらに、からだの



回復と気分の回復には時間差があるため、回復したと思える頃の自殺に注意しなければならないとも指摘していました。【つづく】

再掲載【サンプル動画】『10月義務化！企業等に求められるカスハラ対策とは』 労働新聞社セミナー

講師：弁護士 中町誠法律事務所 中井 智子 さん 以下が無料公開部分(10分程度)の内容です。

- 1 カスタマーハラスメントの現状
 - 2 カスタマーハラスメントの法改正
 - 3 カスタマーハラスメントの実務対応～マニュアル制定の留意点
 - 4 カスタマーハラスメントに関する裁判例
 - 5 カスタマーハラスメント対応に向けて
- ぜひご覧ください(ログインしていただくと、全編視聴が可能です)。



https://www.rodco.jp/movie/219367/?utm_source=nl&utm_medium=email&utm_campaign=0679n

NEW「何度言っても直らない人」いませんか？ 職場づくりのコミュニケーションスキル ②



先週号から、安全・安心の職場めざしたコミュニケーションのあり方についてお伝えしています。

「同じことを何度も注意している」「説明したはずなのに動かない」という人の原因をやる気不足に決めつけてしまわずに、理由は理解不足だけではないことを取り上げていきます。今回は、「指示」「指導」の実際について説明していきます。皆さんは、新入社員に安全活動についてどのような言葉を使って指導していますか？典型的な例は「気をつけろ」「注意しろよ」「ケガするなよ」「ダメじゃないか」などです。「何に気を付けるのか」「何に注意するのか」「どうすればケガをしないのか」などが明確になっていないということです。「片付けなさい」「きれいにしなさい」も同様です。「指示」とは具体的な行動や手順を示して従わせること、「指導」は目的を達成できるように教え導くことです。

「通路に物をおかないように」と指示したとします。指示された側は「わかりました」と答えるでしょう。しかし、この指示だけでは「なぜ置いてはいけないのか」「置くとどんな危険があるのか」「自分の作業にどう関係するのか」までは理解しているかはわかりません。「理解したつもり」になっているのかもしれませんが「本当に理解している」とは行動内容が違ってきます。次回はこの「伝える」と「伝わる」の違いについてです。【つづく】

NEW「9月10日は世界自殺防止デー」ひとりで悩まないで 働く人の電話・SNS相談 9/11

「働く人の相談室」とは、世界自殺予防デーに合わせて実施する電話とSNSによる相談室です。仕事、人間関係、生活に関わる悩みを抱える働く方、その周りの方を対象に9/11(金)の10時から22時まで全国どこからでも無料で相談することができます。この相談室は、当センターが日常のメンタルヘルスに関わる電話相談を委託している日本産業カウンセラー協会北海道支部が主催し、連合が共催して実施するものです。「上司からパワハラを受けている」「顧客・利用者からカスハラを受けている」「老後のことが心配」などの悩みに「認定相談員」の方が親身に話を聞いてくれます。

会員組織のみなさんにはチラシ(右図)を8月中旬に送付する予定です。



カスハラ メンタル 働き方 パワハラ 人間関係
孤独・孤立 キャリア ストレス 悩み 不安 テレワーク

ひとりで抱え込まないで
相談することで心がふっと軽くなります

2026年9月11日(金) 10:00～22:00
働く人の電話相談室
☎0120-583-358 無料
働く人のSNS相談室
https://lin.ee/P8BwLLO 無料

※9月10日は世界自殺防止デーです。当日は全国どこからでも無料で相談できます。

※9月11日は世界自殺防止デーです。当日は全国どこからでも無料で相談できます。

NEW 第三次産業の災害増加に歯止めを！【R7 年労災確定値より】

先週号で厚生労働省公表の「令和 7 年度の労働災害発生状況(確定)」によ
いて、休業 4 日以上死傷者について、業種別では「製造業→商業→保健衛生
業→陸上貨物運送業」の順に多く、内容では「転倒→動作の反動・無理な動作→
墜落・転落」の順になっていることをお伝えしました。

小売業や社会福祉施設、飲食店などの第三次産業では、休業 4 日以上
の労働災害発生件数が右肩上がりとなっています。R6 年の死傷者数 70,916 人
に対して、R7 年は 71,878 人で 962 人(1.4%)の増加となっています。災害の
型別では



「転倒と動作の反動・無理な動作」が前年より増加し、「行動災害」が顕著となっ
ています。第三次産業のうち、小売業や飲食店は多店舗展開
のうえ従業員はパート・アルバイト社員が多く、流動性が
あるなどの特徴があります。社会福祉施設においては、
利用者の安全面などを最優先するあまり、作業者の安全
衛生が後回しとなる声が聞かれます。無理な体勢で介助
作業を行うことによる腰痛は職業病とも言えます。また、
高齢労働者の人数・割合が増加していることから、より
一層配慮が必要となっています。



お知らせ 東京都産業局のハラスメント防止動画があります 企業・団体で活用の検討を！

こちらから https://www.nohara.metro.tokyo.lg.jp/?y_r=6e&_ly_c=186cbe67-4ef8-489f-9873e4ab82463660&_ly_r=110&_ly_src=da

お知らせ 北海道勤労者安全衛生センターの労災防止研修用 DVD(無料)ライブラリー

北海道安全衛生センター所有 DVD 一覧(PDF)

100 本を超える DVD があります。

申込は safety@rengo-hokkaido.gr.jp

会員組織でなくても無料でお貸します

企業・団体での研修会講師の依頼・相談も無料ですので当センターに気楽に相談を！

■ 中 | 災 | 防 | 技 | 術 | 支 | 援 | 部 | 情 | 報 |

令和 8 年度の研修・セミナーの開催日程もホームページに掲載しています。詳しくは、各研修等のペー
ジをどうぞご確認ください。 <https://www.jisha.or.jp/seminar/oshms/index.html>

<安全衛生団体>

■ 中央労働災害防止協会 <http://www.jisha.or.jp/>

■ 厚生労働省ホームページ https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_40277.html に掲載。

■ 北海道安全衛生サービスセンター <http://www.jisha.or.jp/hokkaido/>

■ 安全衛生情報センター <http://www.jaish.gr.jp/index.html>

■ 労働科学研究所 <http://www.isl.or.jp/>

- 労働者健康安全機構 <https://www.johas.go.jp/>
- 労働安全衛生総合研究所 <https://www.jniosh.johas.go.jp/>
- 北海道産業保健総合支援センター（産保センター） <http://www.hokkaidos.johas.go.jp/>
- 職場のあんぜんサイト (mhlw.go.jp)
- 労働調査会 <https://www.chosakai.co.jp/>
- 日本産業カウンセラー協会北海道支部

一般社団法人日本産業カウンセラー協会北海道支部 (counselor.or.jp)

【必見】「働く人の悩み相談室」開設中！しております。詳しくは[こちら](#)から お申込み・お問い合わせは下記までご連絡下さい。▼ご予約は電話：011-209-7000（平日 9 時～17 時 ※土日祝日はお休み）メール：sapporo@counselor.or.jp（当日をご希望の方はお電話での受付になります。）

○ 個人の方へ | カウンセリングのご相談 | 一般社団法人日本産業カウンセラー協会 北海道支部
(counselor.or.jp)

○ 日本産業カウンセラー協会 <http://www.counselor.or.jp/>

<行政>

- 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>
- 厚生労働省 北海道労働局 <https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/>
- 北海道 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/>
- こころの耳（メンタル専用サイト） <http://kokoro.mhlw.go.jp/>

「事例紹介」に検索機能を追加しました。

[こころの耳 Q&A | こころの耳：働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト \(mhlw.go.jp\)](#)

- パワハラポータルサイト「明るい職場応援団」 <https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/>
- アスベスト情報 <http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/sekimen/index.html>
- 独法 労働政策研究・研修機構（JIL） <https://www.jil.go.jp/>
- いじめ・メンタルヘルス労働者支援センター（IMC） <http://ijimemental.web.fc2.com/index.html>

<おすすめHP>

- [ガン情報 がん対策情報センターについて](#)
- [がんと仕事のQ & A](#)
- 過労死防止学会 <http://www.jskr.net/>
- 全国過労死を考える家族の会 <http://karoshi-kazoku.net/>
- 日本アドラー心理学会 <http://adler.cside.ne.jp/index.html>

NEW ■ 安全スタッフ <https://www.rodco.jp/kytsheet/>

安全スタッフ電子版の人気コンテンツ『KYT シート』安全教育動画の紹介 危険予知訓練に活用を

〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル 5F

事務局長理事 木下真一 TEL 011-272-8855 safety@rengo-hokkaido.gr.jp

